

英語版ジブリ映画から探る日本語特有の表現

英語班：辻本 愛衣莉 寺川 愛里紗 藤本 梨佐子

1. はじめに

私たちはジブリ映画『崖の上のポニョ』予告編の日本語版と英語版をみて受ける印象が大きく異なったため、日本には日本特有の表現があるのではないかと興味をもち、同じく英語版が公開されたジブリ映画『となりのトトロ』を通して研究を進めた。

2. 研究課程

(1) 『となりのトトロ』

① 映画の日本語版と英語版を鑑賞し、英語の台詞が追加されていた3つのシーンを抜粋する。

- 1) 引っ越し先へ向かうサツキとメイを乗せた車と郵便局員がすれ違うシーン
- 2) カンタが田んぼを指さすシーン
- 3) お父さんが近所の人と話すシーン

(サ=サツキ 郵=郵便局員 父=父 カ=カンタ 男=男)

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 1) サ: Mei! Hide!
I thought he was a policeman.
Hi! | サ: あ、メイ隠れて!
(手を振る) |
| 郵: Hi! Hello there! | 郵: (手を振る) |
| 2) 父: Sorry to bother you ,but are your
Parents around anywhere?
カ: They are out there in the field. | 父: おうちの方、どなたかいらっし
やいませんか。
カ: (田んぼを指さす) |
| 3) 父: Thanks a lot. Hello There!
Looks like we' re going to be neighbors.
男: Pleasure to meet you.
Good luck in the new house.
父: Thank you. See you soon. | 父: あ、どうも。草壁です。引っ越して
来ました。よろしくお願ひします。
男: ご苦労様です。
父: どうもありがとう。 |

1) 2) 3) から日本語は英語に比べて省略が多いことがわかる。このことから、日本語は簡潔な表現が多いと予想した。

② ①とは反対に日本語が省略されているシーンを探す。

4) 雨に濡れたサツキにカンタが傘を渡すシーン

カ：ん

サ：あ

カ：ん

サ：あ

カ：ん

サ：でも…あつ

サ：Uh…Thanks.

→英語版ではあまり意味のない日本語が省略されていることがわかる。

③ 日本特有の表現について予想

①および②から、英語は文法がきちりした表現が多いが、日本語は曖昧な表現が多いことがわかる。

このことには日本の地理的条件が関係していると推測し、日本は島国であり、説明的なコミュニケーションを取らなくても人々は意思疎通ができたため、曖昧な表現が多くなったのではないかという仮説を立てた。

(2)日本語特有の表現の形成

研究を進めていくと、日本語特有の曖昧な表現は島国特有の文化(=アイランドフォーム)に由来していることがわかり、日本のアイランドフォームの形成には、日本の美徳が深く関わっていた。

※日本の美徳…言葉を慎み、肝胆相照らしたりすること。以心伝心、腹芸、空気を読むことなどが美しいとされ、多弁は尊重されないということ。

3. まとめ

日本語特有の表現の根幹には昔からの日本の美徳があり、それが現代人にも受け継がれており、曖昧な表現が多く使用されている。

4. 考察

これからも日本語特有の表現は受け継がれていくと考えるが、グローバル化が進むに伴って海外のきちりした表現も取り入れられていく可能性があると考えている。

5. 参考文献

『日本語の論理』（中公文庫） 著者：外山滋比古

『英語の発想・日本語の発想』（NHKブックス） 著者：外山滋比古